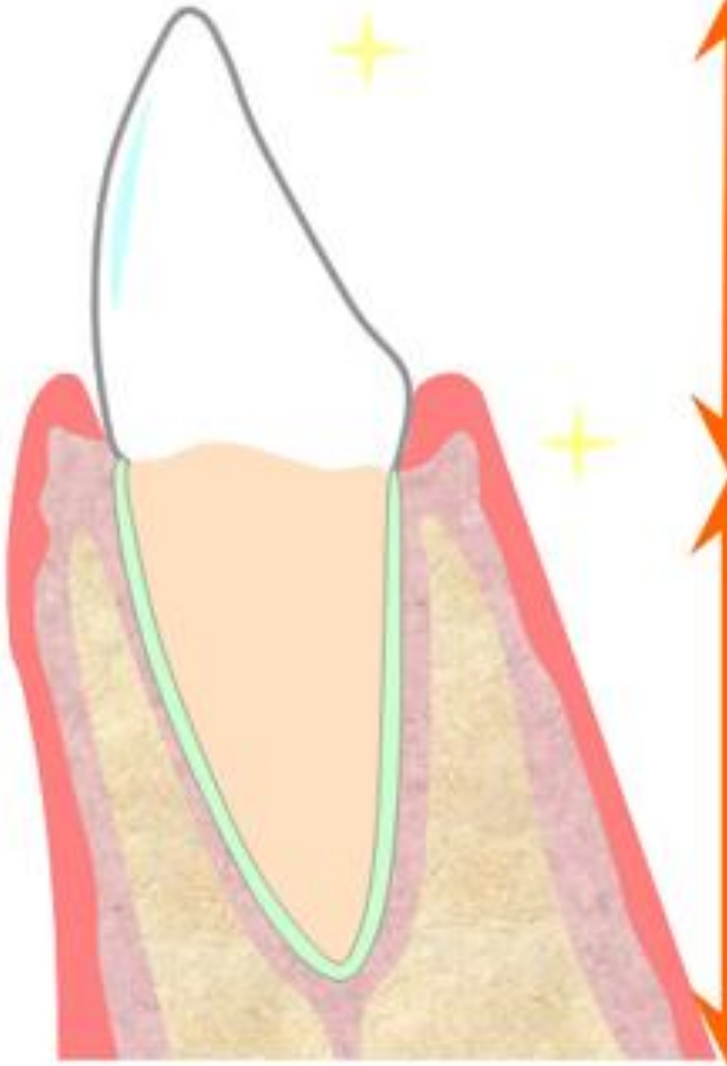
プロフェッショナルケア
メンテナンスの重要性

皆さん！
治療終了は終わりではなく始まりなのです！

治療が終わったら歯医者に行くのは終わりだと思っていませんか？
歯周治療や虫歯の治療が終わるとお口の中の環境は良くなります。しかし予防歯科において重要なのは、**よくなったお口の中の環境をいかに維持していくか、再発させないようにするか**です。そのためにはホームケアとプロフェッショナルケアの両方をうまく取り入れていく必要があります。
そこで今回はプロフェッショナルケアとホームケアについてどんな違いがあるのかを学んでいきましょう。



ホームケア（おうちでのケア）

患者さんの担当は歯肉から上の部分

毎日の正しい歯ミガキでケアしてください。
（メインテナンス時に取り切れていないみがき残しがあれば歯科医院にて取り除きます）

プロフェッショナルケア（歯科医院でのケア）

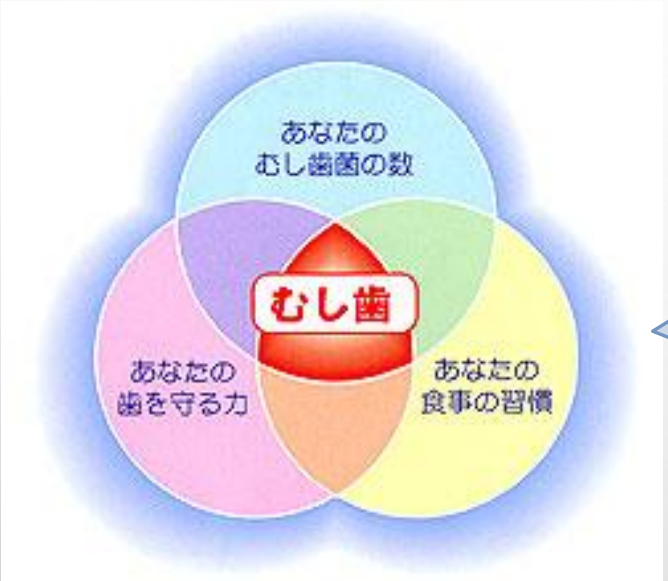
歯科医師・歯科衛生士の担当は歯肉でかくれている部分

歯肉でかくれた部分にたまってしまったプラークや歯石は歯ミガキでは取れません。
専門家におまかせください。

Dental floss
ConCool
ConCool
DENT.
Check-Up
standard
professional
fluoride softpaste
フッ化物配合
LION
甘味料
キシリトール
100%
Home Gel
歯科専用

プロフェッショナルケア

唾液検査（サリバテスト）



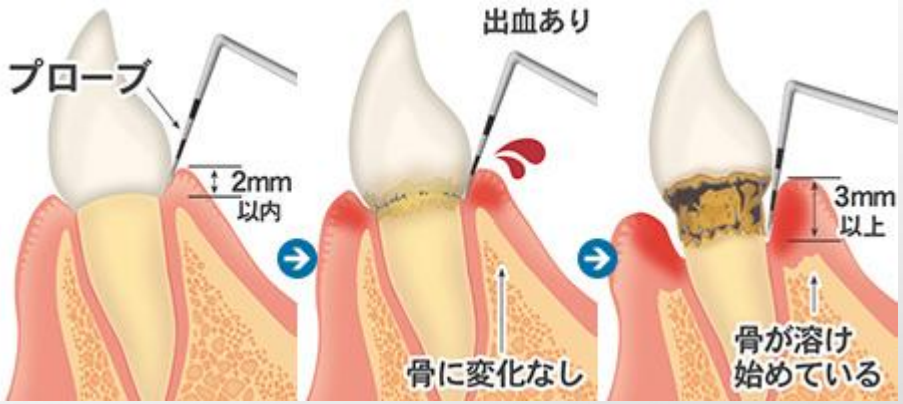
左の図の三つが虫歯の原因です。虫歯菌の数、食習慣、口の中の抗菌力、これらすべての不調が重なったとき虫歯ができます。虫歯を防ぐにはまず自分の口腔内がどんな状況なのかを知るのが必要です。

唾液検査をすることで、唾液の量、唾液の質（緩衝能）、虫歯の原因菌（ミュータンス菌、ラクトバチラス菌）の量がわかります。これらの検査結果とあなたの食習慣を合わせ、リスクを判定し虫歯予防の指導をさせていただきます。

プロフェッショナルケア

歯周病検査

健康な歯肉の歯周ポケットは1～3ミリ以内ですが歯周炎の歯肉は歯周ポケットが4ミリ以上になり、骨も解け始めています。また、出血や排膿の有無で炎症の程度も測ることができます。



歯周精密検査表　患者氏名　カルテNO.　検査日 2013.08.30　PCR 82.0%

部位	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
プラーク																
動揺度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(出血点)																
ポケット	4 5 5	5 5 4	3 2 4	5 2 3	3 3 3	3 2 3	2 2 3	3 2 2	2 2 3	3 2 3	3 2 3	3 2 4	5 2 5	6 3 5	5 4 5	5 4 4
ポケット	4 4 6	6 3 5	5 3 3	3 2 3	4 2 3	3 2 3	3 2 3	3 3 3	3 3 3	3 2 3	3 3 3	3 3 3	3 3 3	4 3 4	4 3 5	4 4 4
(出血点)																
(出血点)																
ポケット	4 6 5	5 5 5	4 3 4	4 3 4	3 3 3	3 2 3	3 2 3	2 2 2	2 2 3	3 2 2	3 3 2	3 3 3	3 2 4	3 3 5	5 3 4	4 4 5
ポケット	5 3 6	6 3 5	6 2 5	4 2 4	4 2 3	3 2 4	3 3 3	3 2 3	3 2 3	3 2 3	4 2 3	3 3 4	5 2 3	3 2 4	4 3 4	3 3 3
(出血点)																
動揺度	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
プラーク																

出血　排膿　出血＋排膿　BOP57.8%　根分岐部病変 ▲1度 ▲2度 ▲3度　プロービング ～3mm 65.6%　4～6mm 34.4%　7mm～ 0.0%

岩井歯科では毎回歯周病検査を行い、口腔内に変化がないか、炎症が起きていないかを確認して記録しています。変化のあった部位に関してはどうしたらよくなるか指導させていただきます。

プロフェッショナルケア

ポケット洗浄（スケーリング）

歯周治療によって歯根についてしまっていた歯石を取り除いてきました。ですがうまくブラッシングができていないと汚れは再び歯周ポケット内に入り込み炎症を起こしてしまいます。歯周ポケットの中に入り込み付着したバイオフィルム（細菌の膜）はホームケアでは除去できません。またポケット洗浄によって一時的にバイオフィルムを破壊したとしてもまた再びバイオフィルムは形成されてしまいます。定期的に歯医者に通い歯周ポケット内を洗浄してもらいましょう。

また、下の歯の前歯の裏側は唾液腺が近いため、歯石がつきやすいです。歯石は細菌の塊ですので、定期的に衛生士さんに除去してもらいましょう。

プロフェッショナルケア

PMTC

歯石が取り除かれたいい状態を維持するために、専用の機器を使い、普段自分では磨ききれない部分まできれいにクリーニングすることが大切です。歯の着色や、表面の小さな凹凸も取り除き、つるつるにすることで細菌が付着しにくくなり、虫歯や歯周病の予防に効果的です。

プロフェッショナルケア

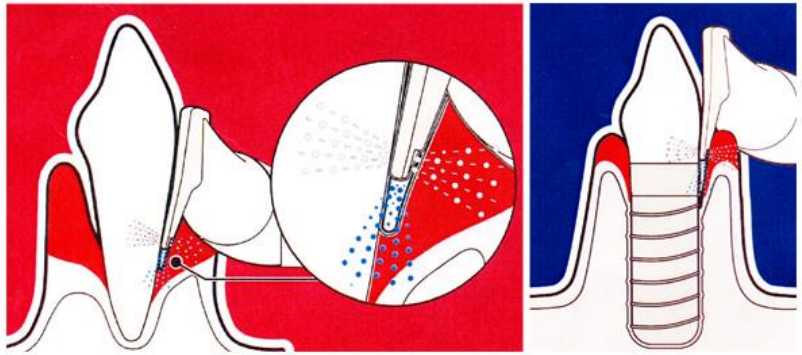
エアフロー

歯周病は生活習慣病と同様に慢性疾患であり、残念ながら完治しなかったり、再発してしまうことがあります。この「**ペリオフロー**」は、手用器具では届かない、歯周ポケットの中のプラークまで除去できる機材であり、歯周病の再発防止や予防に最適です。歯周病が進行した方は、ペリオフローでのメインテナンスをお勧めします。

エアフローの術前・術後

たばこのヤニや濃い着色、矯正治療中でブラッシングが行き届かない部位、染め出しによって見つかった蓄積したプラークなど除去します。

インプラントにはエアフローによる
メインテナンスをオススメします



インプラントに傷をつけないように清掃するためには、普段、わたしたちが使用している器具だけでは不十分なため、特殊な機器を使用して、インプラント周囲の清掃をおすすめします。

プロフェッショナルケア

TBI(ブラッシング指導)

自分では磨けているつもりでも染め出しをしてみると意外と磨き残しは多くあります。そこで、自分の苦手な部分はどこなのか、どうしたら磨き残しなくきれいに磨けるようになるのか、自分の担当の衛生士に教えてもらいましょう。

上手な歯磨きをするには自分に合った歯ブラシやフロス、歯間ブラシを使うことが必要です。自分にはどんな道具が合っているのか、何を使えばいいのか、わからないことは衛生士に聞いてみてください！きっとあなたに合ったものを紹介してくれますよ。

お二人は同じ年齢です！！80歳

中断を繰り返している患者さん

現在も定期的に通われてる患者さん

どちらの歯で食事をしたいですか？

メインテナンスが本当の始まりです！

虫歯の治療や歯周治療で手に入れた健康な口腔内を維持するために

定期的に歯医者に通いプロフェッショナルケアを受けること、

そして自身のホームケアを毎日欠かさず行うこと。

この両方をうまく取り入れ、生涯健康な口腔内を維持していきましょう。